

平成30年度 社会福祉法人 下市町社会福祉協議会
事業報告書

事 項	月 日	実施場所	備 考
役員理事会	6/5	町交流センター	①29年度社協事業報告・会計決算報告並びに業務及び会計監査報告について ②平成30年度補正予算案について ③評議員選任解任委員会開催日及び議案内容について ④定時評議員会の招集日及び議案内容について
	3/18	町交流センター	①31年度社協事業計画案並びに資金収支予算書案について ②評議員選任解任委員会開催日及び議案内容について ③定時評議員会の招集日及び議案内容について ④任期満了に伴う第三者委員の選任について ⑤経理規程の一部改正について ⑥職務執行状況の報告について
評議員選任解任委員会	6/11	町交流センター	①評議員退任に伴う評議員候補者(補欠者)の選任について
	3/19	町交流センター	①評議員退任に伴う評議員候補者(補欠者)の選任について
定時評議員会	6/19	町交流センター	①29年度社協事業報告・会計決算報告並びに業務及び会計監査報告について ②平成30年度補正予算案について ③理事の選任について
評議員会	3/26	町交流センター	①31年度社協事業計画案並びに資金収支予算書案について ②任期満了に伴う第三者委員の選任について ③役員及び評議員の費用弁償に関する規程案について
第68回奈良県社会福祉大会に参加	12/12	橿原文化会館	・奈良県社会福祉協議会会長表彰 民生児童委員功労者 2名 いきいきサロン9団体
生活福祉資金貸付関連業務 県フードレスキュー事業	年間随時	町・県社協	平成31年3月31日現在 借受人 1名 フードレスキュー利用者 0名
日常生活自立支援事業	年間随時	町・県社協	平成31年3月31日現在 利用者 3名
心配ごと相談所開設	第1・3木曜	町交流センター	行政相談員、人権擁護委員、民生児童委員で構成
日常生活用具の貸出 (介護保険対象外)(車椅子)	年間随時	町内全域	貸出数 車椅子19台 延べ貸出対象者17名

【ふれあいのまちづくり事業】

ボランティアセンター 運営推進 ボランティア活動の窓口 ボランティア活動の推進 ・ボランティア活動団体への助成 ・ボランティア登録・幹旋 ・ボランティア活動保険の加入 ・情報誌の発行	毎月3回～4回	町交流センター そよ風荘 すぎの子苑 在宅 その他の施設	【あきつボランティアグループ】 ・一人暮らし高齢者お楽しみ会5/27 ・定例会(毎月1回)・歌の練習(月1回) ・施設訪問(月1回 そよ風荘・すぎの子苑) ・友愛訪問等高齢者福祉活動 ・県ボランティア連絡協議会活動参加(幹事として)
	毎月2回～3回	図書館を中心に 保幼小・施設等	【下市おはなしの会】定期のお話会 ・おはなし配達(保育・幼稚園・小学校・施設・サロン等)
	月2回	町交流センター	【下市手話サークルせせらぎ】 イベントへの協力、交流、手話の学習
	随 時	町 内	【青空ボランティア】 簡単な修理、庭木の手入れ、草刈など
	随 時	町 内	【なかよしランドによきによき】 子育てサロンや図書館まつりで手遊びなど

【更生保護女性会】募金活動、花植え、イベントの協力、保護司会活動の協力、登下校の見守り等

【学校支援ボランティア】小学校の環境美化等・【観光ボランティア】

【食生活改善推進員協議会・健康づくり推進員】サロン活動やイベントの協力、食を通じた健康推進

【共同募金地域福祉配分金事業】

社協情報誌「夢ふうせん」発行	年6回	町内各戸	第127号～第132号
高齢者ふれあいいきいき サロン支援	各サロン 年間 7回から 12回	栃原、平原・黒木・立石・惣上・栃本・才谷・阿知賀・緑ヶ丘・堀毛・広橋・新住・仔邑・秋津・梨子堂・栄町・寺内・善城・宮の向、小路、長谷、今在家、田中、大峯、サロン寿、サロン白寿、上阪、原谷、丹生、わらく(小西団地)、ほのぼのサロン(山崎、堂垣内、北口、天神、植木、新町、桧皮蔵、青葉台、本町)	見守り！つながろう！支え合う！ 血圧測定・健康相談 小物作りや季節の行事、介護予防 レクリエーション・健康体操等 計30カ所 ・活動助成及びレクリエーション用具の提供、保険加入等活動支援 ・町健康福祉課より助成及び講師等の派遣 ・食生活改善推進員協議会、健康づくり推進員、おはなしの会の協力 ・いきいきサロン連絡会8/25、3/20
やすらぎ箱配付	随時	80歳以上一人暮らし高齢者	不測の事態に備え、緊急連絡先等記入した箱を民生児童委員を通じ配布
子育てサークルでんでんむし支援	月1回	町交流センター	母子の交流情報交換・季節の行事・学習等
ふれあい子育てサロン	年間5回	町交流センター他下市幼稚園プール下市幼稚園	・主任児童委員、民生児童委員により小地域で母子の交流や情報交換等で孤立化を防ぐ ・民生児童委員によるちらし配付及び文字放送や夢ふうせんによる啓発活動
【福祉教育】 町内保幼小中学校福祉 学習支援	随時	町内保育園・幼稚園 小学校 中学校	【ふれあい手話教室】 下市ユートピア保育園 7/26 下市幼稚園 11/6 下市小10/4 下市中10/30 【視覚障害について】 下市中 11/7 30名 【車椅子・疑似体験学習】 下市小7/3 33名 下市中11/8 30名 【高齢者の接し方・認知症について】 下市中11/8 30名
障害者地域生活支援事業	年1回～ 年4回	町交流センター 他 施設等	下市町肢体不自由児者父母の会 交流会・懇談会・施設見学等
歳末たすけあい見舞金 (社協・善意銀行)	12月	町内全域	一人暮らし高齢者147名に配付
災害対策支援	3月	幼稚園・保育園	防災ずきん配付(園での防災訓練等)

赤い羽根共同募金 歳末たすけあい募金運動の 推進 ・一般共同募金 703,000円 (対前年比 -27,000円) ・歳末募金 544,000円 (対前年比 -24,800円)	10月～ 12月	町内全域	一般共同募金(赤い羽根募金)内訳 ・区長総代様依頼 455,000円 ・職域募金 104,090円 役場役職員、社協役職員、行政相談員 民生児童委員、教育委員、人権擁護委員、大紀 オーカワ・あきつボランティア・巴商事他 ・学校募金(小学校・中学校) 21,784円 ・イベント募金(夢まつり他) 111,674円 ・窓口 10,452円 社協・金融機関・秋津荘・Aコープ・美芳野庵他
--	-------------	------	--

【町受託事業及び指定管理事業】

町児童館指定管理事業	年間	児童館	子どもの遊び場提供 来館者延べ名
町交流センター指定管理事業	年間	社協事務局	使用団体54団体 使用者延べ10,784名 昨年度比 872名減
地域子育て支援センター	年間 月～金 年末年始 祝日を除く 午前9時 ～ 午後5時	町交流センター	◇子育て親子の交流の場の提供と交流促進 ◇子育てに関する相談、援助 保育士による相談・子育てサークル活動支援 ◇子育て及び子育て支援に関する講習会等の実施 親子で遊ぼう・英語で遊ぼう ◇ふれあい子育てサロン実施 おはなし、水遊び・運動会・クリスマス会、ミュージックケア ◇おさがり交換会 1回 開館日数 244日 延べ682名
交流事業	年間 月～金 年末年始 祝日を除く 午前9時 ～ 午後5時	町交流センター	・子どもから高齢者まで多世代にわたる交流と憩いの場 ・子どもたちと遊びを通じた仲間づくり ・幼児や保護者との交流 ◇子どもお楽しみ会 年3回 延べ24名 椅子取りゲーム、フルーツバスケット、億万長者ゲーム ごんたくんカルタ、ジェンガ ◇Let's try 年間4回 延べ50名 己書、クラフトテープカゴ作り・羊毛フェルトでお雛様作りに挑戦 ◇ふれあい広場 12/1 年1回 延べ186名 コーラス・音楽ユニット CPS・サクラ・二胡・絵本作り・バザー、昔遊び ピザ、豚汁等で世代間の交流を図る。 ◇交流センター 開館日数 244日 延べ898名
町家族介護者交流事業	年間4回	町交流センター他	介護者他延べ47名 6/6・8/21・1/25・3/15 心身のリフレッシュ、介護者同士の交流、情報交換
介護教室事業	年間3回	町交流センター	参加者 10名～14名 7/14・9/22・11/17 介護についての知識や技術を学ぶ
認知症施策推進事業 (認知症カフェ事業)	年間11回	町交流センター (5月～3月) 丹生コミュニティ会館 3月13日	延べ310名 主に毎月第2金曜日 認知症の人やその家族、専門職、地域の人など誰もが気軽に参加できる集いの場、安心して過ごせる場 壁面飾り、夏まつり、ミニ運動会、寄せ植え、囲碁ボール、音楽遊び等
生活支援体制整備事業 (生活支援コーディネーターの 配置) 地域包括支援センターとの連携	年間随時	町内全域	身近な場所での支え合いの仕組みづくり、地域づくり ・小地域ケア会議、高齢者ネットワーク会議への参加 ・生活支援サポーター養成講座への参加 ・老人クラブへの働きかけ(共に地域をささえていく取組を考えよう 役員、支部長、女性部研修、友愛訪問活動、サロン活動支援等) ・小地域活動セミナーの開催 8/2・3/20 ・サロン活動支援及び未実施地域への対応 ・閉じこもり防止、介護予防事業(健康麻雀教室開催、百歳体操取組支援) ・地域力強化推進事業との連携 つながりサポート会議支援 ・個別支援から地域支え合い取組の提案 ・支え合いマップ作り、地域会議への参加支援

地域力強化推進事業 CSW(コミュニティソーシャル ワーカー)4名の配置 平成29年度30年度補助事業 コミュニティソーシャルワーク事業 下市町社協モデル参照	年間随時	町内全域	地域共生社会実現を目指して、高齢・障害・児童など分野にとらわれず、困りごとや気になることなど支援が必要な人の相談に応じ、必要な支援に結び付けて、地域や関係機関、団体とつながりを持ちながら、解決に向けて、当事者に寄り添う。「困っている人に寄り添う支援」と「支え合う地域をつくる支援」を同時に推進する。 個別の生活課題に取り組むと同時に住民のつながりづくりや日常的な支え合いの活動、活動の担い手づくり、地域づくりを地域の状況に合わせて展開していく。 ・しもいち支え合いセミナー 平成30年8月2日 ・しもいち支え合いセミナー 平成31年3月20日 取り組み軒数 平成31年3月31日現在 ・個別支援 延べ151件 ・地域支援 延べ110件 ・研修会議 35件
--	------	------	--

下市町善意銀行の事務局及び 窓口事務全般	随時	事務局	預託件数 60件 1,694,600円 前年比 +11件 +373,500円
-------------------------	----	-----	---

【各福祉団体の事務局又活動支援】

英霊にこたえる会関係全般 町民生児童委員協議会 老人クラブ連合会 身体障害者福祉協会 白菊会 遺族会 更生保護女性会 肢体不自由児者父母の会 ボランティアグループ	随時	事務局	・各団体の町事務局として、会計及び活動推進に協力 ・ボランティアグループについては、活動支援
---	----	-----	---

【介護サービス事業等】

◇【居宅介護サービス等事業】		常勤ヘルパー 2名(31年3月現在)		
		登録ヘルパー 9名		
・訪問介護事業		利用者数	(月平均 28.1名 年間延べ 338名)	対前年比 18名減
・障害者自立支援居宅介護等事業		利用者数	(月平均 3名 年間延べ 36名)	対前年比 8名減
◇【居宅介護支援事業】		介護支援専門員2名		
・ケアプラン作成等		利用者数	(月平均 63.5名 年間延べ 762名)	対前年比 131名増
・受託事業				
要介護認定訪問調査		年間利用数	51名	対前年比 増減なし
介護予防支援		年間利用数	142名	対前年比 28名増

